

厚生労働大臣杯争奪 第76回全日本実業柔道団体対抗大会

1. 日 時 2026年6月13日(土) 9:00 開会式(終了次第試合開始) 17:00 終了予定
2026年6月14日(日) 9:00 試合開始、15:30 大会終了予定
2. 会 場 アスリートタウン延岡アリーナ(新宮崎県体育館)
<https://www.miyazaki-spokyo.jp/nobeoka-arena/>
〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町1丁目2849 TEL:0982-21-3121
3. 主 催 全日本実業柔道連盟
4. 主 管 西日本実業柔道連盟、宮崎県柔道連盟、延岡市、日本のひなた宮崎国スポ・障スポ延岡市実行委員会
5. 後援(予定) 厚生労働省、公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟、読売新聞社、
宮崎県、宮崎県教育委員会、日本のひなた宮崎国スポ・障スポ実行委員会、公益財団法人宮崎県スポーツ協会、延岡市教育委員会、一般社団法人延岡市スポーツ協会

6.参加資格

- (1) 全日本実業柔道連盟に加盟し年会費を納めた会員であること。
- (2) チームは、会員および事業所単位とし、男子1部は1社1チームまで、第2部・第3部は1社3チームまで参加を認める。
- (3) 選手は(公財)全日本柔道連盟に登録し、全日本実業柔道連盟に加盟している会員に在籍し、選手登録をしていること。

7.参加申込

- ・全日本実業柔道連盟ホームページ(全日本実業柔道連盟)より申し込むこと。
- ・申込締切:2026年4月15日(水)17:00
- ・問合せ先:全日本実業柔道連盟 E-mail:zenjitsu@jitsujuren.jp TEL:03-6699-3040

8. 参加料

- ・男子(各部):30,000円/チーム
- ・女子:第1部30,000円/チーム、第2部15,000円/チーム
- ・振込先:三井住友銀行 本店営業部 普通 9071854 全日本実業柔道団体対抗大会事務局
※参加申込と同時に振込むこと。振込確認できない場合は参加不可。
※振込名義は必ず会員名とする。
※組合せ抽選後の辞退による返金は行わない。

9. 試合種目

男子の部は第1部・第2部・第3部、女子の部は第1部・第2部とする。

第1日目(6月13日):男子の部 第3部、女子の部 第1部

第2日目(6月14日):男子の部 第1部・第2部、女子の部 第2部

※開催地宮崎県から特別参加として男子の部は第3部、女子の部は第2部への出場を認める。

〔男子の部〕

- (1) 第1部は12チーム、第2部は32チーム以内とし、それ以外を第3部とする。
- (2) 本大会の試合成績により該当チームの昇・降格を行い、次年度に出場できる各部を次により決定する。
 - ・第1部の1回戦で敗退した4チームは次年度第2部に降格する。
 - ・第2部上位4チームは次年度第1部に昇格する。
※男子2部の準々決勝が終了後速やかに、準々決勝にて敗れた4チームを大会本部にて役員立ち合いのもと厳正に抽選を行い、優先順位の1から4を決めておく。2部ベスト16にて優勝チームに敗れたチームを優先順位5、準優勝チームに敗れたチームを優先順位6とする。
 - ・第2部ベスト4と重複するチームが1部に残留した場合には、重複チームは昇格せず、優先順位の高い順から1部に昇格とする。1部出場チームに欠場が出た場合にも、この優先順位の上位にいるチームが1部に出場できることとする。
 - ・第2部の下位4チームは次年度第3部に降格する。下位4チームは1回戦で敗退したチームの中から抽選を行い決定する。但し、第2部が32チームに満たない場合には、そのまま第2部に出場する場合がある。

(各部抽選の必要が生じた場合、大会本部にて役員立ち合いにより厳正に抽選を行い、該当チームに周知するとともに HP の大会結果に掲載する)

- ・第 3 部の上位 4 チームは第 2 部に昇格する。
- ・要項に記載のない事項が生じた場合、大会本部にて速やかに検討・決定の上、当該チーム等に周知する。

10.チーム編成・選手配列

【男子の部】

- ・第 1 部：監督 1 名、コーチ 1 名、選手 7 名（計 9 名）
- ・第 2 部・第 3 部：監督 1 名、コーチ 1 名、選手 5 名、補欠 2 名（計 9 名）
- ・トレーナーは各所属 1 名までとする。
- ・第 1 部は、申込時点で 5 名以上の選手が揃っていないといけない
- ・第 2 部・第 3 部は補欠を除く全員が揃っていないといけない。
- ・試合方法：チーム 5 名による点取り試合とする。
- ・選手配列：第 1 部は試合毎に変更可、第 2 部・第 3 部は、申込以降の変更は認めない。

【女子の部】

- ・第 1 部：監督 1 名、コーチ 1 名、選手（57kg 以下 3 名、70kg 以下 3 名、無差別 2 名）計 10 名
- ・第 2 部：監督 1 名、コーチ 1 名、選手（57kg 以下 1 名、70kg 以下 1 名、無差別 1 名）、補欠 2 名 計 7 名
- ・トレーナーは各所属 1 名までとする。
- ・第 1 部は、各階級に最低 1 名以上の選手が揃っていないといけない
- ・第 2 部は補欠を除く全員が揃っていないといけない。
- ・試合方法：体重別チームによる点取り試合とする。
- ・選手配列：第 1 部は 57kg 以下 2 名、70kg 以下 2 名、無差別 1 名の 5 名とし、各体重区分内で試合毎に変更可。試合当日に選手が事故のため出場不可能となるか、体重区分どおりに 5 名のチーム編成が組めない場合に限り、体重区分の軽い選手が重い体重区分への上場を認める。但し、一度移動した選手は元の体重区分へ戻ることはできない。また、無差別に登録した選手についての移動は認めない。第 2 部は 57kg 以下 1 名、70kg 以下 1 名、無差別 1 名の 3 名とし体重別に配列する。
- ・計量〔公式計量〕
 - 6 月 12 日（金）16:00～16:40（女子第 1 部）
 - 6 月 13 日（土）16:00～16:40（女子第 2 部）
 - ・予備計量：15:30～16:00（自由計測）
 - ・場所：女子アップ会場内計量会場（サブアリーナ）
 - ・無差別級の計量は行わない。

11.審判規程

- (1)最新の国際柔道連盟試合審判規程（2025-2028）で行う。
- (2)試合時間は 4 分間。
- (3)優勢勝ちが「有効」または「僅差」以上とする。
- (4)「指導」差が 2 対 0 になった場合「指導」0 の選手を「僅差」勝ち、「指導」差が 1 は引分け。
- (5)「技の内容」と「指導」の重み。※【一本勝＝反則勝＞技あり＞有効＞僅差】の順とする。

12.服装

2022 年 1 月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。

全柔連規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。

全柔連柔道衣規格合格品のリストは全柔連 HP を参照すること。

柔道衣の大きさ又は規格が合わない場合は出場を認めない。（主催者は予備の柔道衣を用意しない）

13.ゼッケン

- (1)布地は白色とし、苗字を上部 2/3、チーム名を下部 1/3 に男子は黒文字、女子は赤文字で記載する。
- (2)サイズについては縦 25～30cm、横 30～35cm とすること。
- (3)縫い付け位置は後襟から 5～10cm 下部に縫い付けること。

14.試合方法

(1) トーナメント方式で各部ごとに「優勝」「準優勝」「第3位」を決定する。

女子第1部は参加チーム数によりリーグ戦で行なう場合がある。

(2) チーム間の勝敗は次により決定する。

① 勝者数の多いチームを勝ちとする。

② ①で同数の場合は一本勝、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負けによる勝者の多いチームを勝ちとする。

③ ②で同数の場合は、「技あり」による勝者の多いチームを勝ちとする。

④ ③で同数の場合は、「有効」による勝者の多いチームを勝ちとする。

⑤ ④で同数の場合は、次の通り「代表戦」を行う。※代表戦は個人戦同様で「僅差」決着なし。

<男子の部>任意選出選手1名による代表戦を行う。規定時間内で得点差がない場合は、ゴールデンスコア（延長戦）にて、勝敗を決する。また上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度他の代表選手を選出し、代表戦を行う。

<女子の部>「引分け」の階級の中から抽選で代表選手を選出し、いきなりゴールデンスコアにて、勝敗を決する。また、上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度抽選により他の階級から代表選手を選出する。なお、引分けの階級がない場合は、両者反則負け等で勝敗を決していない階級の中から代表選手を選出する。

(3) リーグ戦における順位の決定について

① チーム間の勝敗において、勝数の多いチームを上位とする。

② 勝数が同数の場合は負数の少ないチームを上位とする。

③ ②で同一の場合はリーグ戦中の個人の総勝数の多いチームを上位とする。

④ ③で同一の場合は負数の少ないチームを上位とする。

⑤ ④で同一の場合は勝数の内容により決定する。

⑥ ⑤で同一の場合は直接対戦での勝者のチームを上位とする。

⑦ ⑥で引き分けだった場合は、任意選出選手1名による代表戦を行う。規定時間内で得点差がない場合は、ゴールデンスコア（延長戦）にて、勝敗を決する。※代表戦は個人戦同様必ず決着をつける。

(4) 試合場 大会会場内アリーナにて4試合場で行う。

15.審判員

(1) 審判員は全日本実業柔道連盟の委嘱による。

(2) 審判員会議： 6月13日（土）8:15～8:45、14日（日）8:30～8:45

場所：会場内会議室

16.表彰

(1) 優勝チーム：優勝旗・優勝杯・賞状・賞品を授与

準優勝・第3位チーム：賞状・賞品を授与

（ただし、出場参加数により変更する場合がある）

(2) 男子第1部・女子第1部の優勝チームに、厚生労働大臣杯を授与

(3) 優秀選手賞：男子各部5名、女子各部3名に授与

17.抽選

4月25日（土）16:00より、西日本実業柔道連盟事務局にて「大会組合せの抽選とシード基準」に則り厳正に行う。

18.選手変更

(1) 5月25日（月）～28日（木）17:00までに、登録外選手2名までメールにて受け付ける。

(2) 大会前日の選手変更は不可。

(3) 6月10日（水）～11日（木）15:00まで、怪我・疾病による1名の変更を受け付ける。（医師の診断書PDF必須）

(4) 接骨師の診断書は不可

(5) 登録選手以外からの変更は1チーム最大2名とする。その際、選手に欠員が出た場合は補欠員を充当し、補欠員が欠員となった時は登録外の選手を充当する。また、同一会社であっても部内外間の選手の入替は認められない。

(5) 男子2部・3部、女子2部については、一度退いた選手は再出場できない。

19.練習会場

- ・6月12日(金) 9:00~17:00、13日(土) 8:00~16:00
- ・場所:サブアリーナ
- ・試合当日は大会開始 20 分前までメインアリーナ使用可とする。

20.監督会議

6月12日(金) 16:45~17:30 会場内会議室にて行う。

21.開会式・表彰式

- ・開会式：柔道衣着用、全員参列
2日目出場チームで、勤務等の都合により不参加の場合は5月29日(金)までに事務局へ連絡すること。
- ・表彰式：入賞チーム・優秀選手は柔道衣着用で参列すること。

22.宿泊等斡旋

宿泊・弁当の手配を希望するチームは、直接斡旋団体へ申し込むこと。

日本旅行/エルオルト【宿泊・お弁当予約サイト】<https://va.apollon.nta.co.jp/zenjitsuijuren76/>

23.傷害保険

当連盟は試合中の傷害に対する保険(死亡・後遺障害・入院)に加入する。

通院の補償は対象外。各社・各人で自己責任にて必ず保険加入のこと。

24.特記事項

- (1)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。大会時に選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (2)脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
 - ・大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ・大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは認めない。
(受傷した時点で必ず専門医を受診すること。)
 - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。
- (3)監督・コーチは2026年度全柔連登録をしており、全柔連指導者資格(A・B・Cのいずれか)を有すること。
- (4)大会で撮影された写真・映像の肖像権は主催者または認定団体・共催者に帰属する。
- (5)大会はYouTubeライブ配信予定(主催者または認定チャンネル)
- (6)大会申込情報は全実柔連ホームページおよび記録・進捗システムに掲載される場合がある。

以上